

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 10 月 17 日 (2022.10.17)

【公開番号】 特開 2021-133080 (P2021-133080A)
【公開日】 令和 3 年 9 月 13 日 (2021.9.13)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-043
【出願番号】 特願 2020-32922 (P2020-32922)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 10 月 6 日 (2022.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御基板を備える遊技機であって、
前記主制御基板は、
前記遊技の進行を制御するための演算装置と、
前記遊技を実行するための所定の機能を有する電子部品と、を搭載し、
前記電子部品は、前記演算装置の制御に伴う各種入力信号及び出力信号を送受信可能な
ロジック部品を含み、
前記ロジック部品には、前記遊技の進行を制御するための信号を出力可能な第 1 ロジッ
ク部品と、前記遊技に関連する情報を表示するための信号を出力可能な第 2 ロジック部品
と、前記演算装置をリセットするリセット部品を含み、
前記主制御基板には、前記演算装置が配置された領域を含む第 1 領域と、当該第 1 領域
の外側に第 2 領域があり、
前記第 2 領域には、当該遊技機の検査に用いる電子部品を配置可能な検査用部品実装領
域が含まれ、
前記第 1 ロジック部品は、前記第 2 ロジック部品よりも前記検査用部品実装領域から離
れた領域に配置され、
前記リセット部品は、前記第 2 領域に配置されるとともに、前記第 1 領域に近い側に配
置される

30

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0006

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0006】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、
遊技の進行を制御する主制御基板を備える遊技機であって、
前記主制御基板は、

50

前記遊技の進行を制御するための演算装置と、
前記遊技を実行するための所定の機能を有する電子部品と、を搭載し、
前記電子部品は、前記演算装置の制御に伴う各種入力信号及び出力信号を送受信可能な
ロジック部品を含み、
前記ロジック部品には、前記遊技の進行を制御するための信号を出力可能な第１ロジック
部品と、前記遊技に関連する情報を表示するための信号を出力可能な第２ロジック部品
と、前記演算装置をリセットするリセット部品を含み、
前記主制御基板には、前記演算装置が配置された領域を含む第１領域と、当該第１領域
の外側に第２領域があり、
前記第２領域には、当該遊技機の検査に用いる電子部品を配置可能な検査用部品実装領
域が含まれ、
前記第１ロジック部品は、前記第２ロジック部品よりも前記検査用部品実装領域から離
れた領域に配置され、
前記リセット部品は、前記第２領域に配置されるとともに、前記第１領域に近い側に配
置される

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【０００７】

上記構成では、主制御基板（主制御基板１３１０）上で演算装置（主制御ＭＰＵ１３１１）の周辺に電子部品が配置されない領域（無実装領域６１０１）と、当該領域の外側にディスクリート部品を配置可能な領域（部品実装領域６１０２）とを形成し、さらに部品実装領域６１０２の外側には、集積回路等のロジックＩＣが配置される領域（第２領域６２００）が形成される。集積回路等のロジックＩＣが配置される領域（第２領域６２００）には、検査用電子部品が配置される領域（検査用部品実装領域６３００）が形成されている。検査用電子部品は、検査機関による検査を受ける遊技機にのみ搭載されるが検査用部品実装領域内にデータバスなどのプリントパターンが設けられているため、ノイズがデータバスに誘起し誤動作を引き起こす可能性がある。そのため、遊技に影響を与える制御を行う第１ロジック部品（例えば、大入賞口を開閉するためのソレノイドを制御するための信号を出力するシリアル・パラレル変換回路１３４５）を検査用部品実装領域から離れた場所に配置することで誤作動を防止する一方、遊技の進行に影響を与えない制御のみを行う第２ロジック部品（例えば、ＬＥＤ表示を行うシリアル・パラレル変換回路１３４２等）については検査用部品実装領域に近い位置に配置可能とし、回路設計の自由度を高めている（図４０１、段落「３８０９」等参照）。

30

40

50